

アオサギ観察会

2008年4月23日

--- サギとカラスの話 ---



コロニーに侵入したカラスと警戒するアオサギ



羽毛を逆立ててカラスを威嚇するつがい

室町時代の御伽草子に「鴉鷺物語」というのがあります。「鴉」とはカラスのこと、祇園のカラスと中鴨のサギが互いに山野の鳥と水辺の鳥を集めて合戦するというストーリーです。どうもこの両者は昔から争いごとが絶えなかったようですね。

さて、アオサギの親鳥たちはいま抱卵の真っ最中。親鳥たちは片時も巣を離れず大切な卵を温めています。その卵をいつも虎視眈々と狙っているのが言わずと知れたハシブトガラス。何かの拍子に親鳥たちが巣を離れると、瞬く間にどこからともなくわらわらと集まり卵を奪い去っていきます。一方、アオサギのほうもやられてばかりではありません。左の写真はカラスの巣をちゃっかり拝借したアオサギのつがいです。この巣、よく見ると何本ものハンガーが使われているのが分かります。



ところで、「鳥鷺の戦い」という言葉を御存知ですか？ある勝負事をカラスとサギの戦いに見立てたものなのですが、何だか分かりますか？